

【3】対称式と数列

2次方程式 $x^2 - 3x + 5 = 0$ の2つの解 α, β に対し、 $\alpha^n + \beta^n - 3^n$ はすべての正の整数 n について5の整数倍になることを示せ。

/'13 東京工業大（理・工・生命理工）前期 1(1)

解答

数列 $\{a_n\}$ を

$$a_n = \alpha^n + \beta^n - 3^n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

と定める。

方程式 $x^2 - 3x + 5 = 0$ の解が α, β なので

$$\begin{cases} \alpha^2 - 3\alpha + 5 = 0 \\ \beta^2 - 3\beta + 5 = 0 \\ \therefore \begin{cases} \alpha^2 = 3\alpha - 5 & \dots\dots \textcircled{1} \\ \beta^2 = 3\beta - 5 & \dots\dots \textcircled{2} \end{cases} \end{cases}$$

したがって、①②より

$$\begin{aligned} a_{n+2} &= \alpha^{n+2} + \beta^{n+2} - 3^{n+2} \\ &= \alpha^n(3\alpha - 5) + \beta^n(3\beta - 5) - 3^{n+2} \\ &= 3(\alpha^{n+1} + \beta^{n+1}) - 5(\alpha^n + \beta^n) - 3^{n+2} \\ &= 3(a_{n+1} + 3^{n+1}) - 5(a_n + 3^n) - 3^{n+2} \\ &= 3a_{n+1} - 5a_n - 5 \cdot 3^n \quad \dots\dots (*) \end{aligned}$$

とできる。

また、方程式 $x^2 - 3x + 5 = 0$ における解と係数の関係より

$$\alpha + \beta = 3 \quad \dots\dots \textcircled{3}$$

であるから

$$a_1 = \alpha + \beta - 3 = 3 - 3 = 0$$

さらに

$$\begin{aligned} a_2 &= \alpha^2 + \beta^2 - 3^2 \\ &= (3\alpha - 5) + (3\beta - 5) - 9 \quad (\because \textcircled{1} \textcircled{2}) \\ &= 3(\alpha + \beta) - 19 \\ &= 3 \cdot 3 - 19 \\ &= -10 \end{aligned}$$

である。

さて、 a_n がすべての正の整数 n について5の整数倍であることを、数学的帰納法で示す。

(I) a_k, a_{k+1} がともに5の整数倍であると仮定すると

$$a_k = 5b_k, \quad a_{k+1} = 5b_{k+1} \quad (b_k, b_{k+1} : \text{整数})$$

とおけて、(*) より

$$\begin{aligned} a_{k+2} &= 3a_{k+1} - 5a_k - 5 \cdot 3^k \\ &= 3 \cdot 5b_{k+1} - 5 \cdot 5b_k - 5 \cdot 3^k \\ &= 5(3b_{k+1} - 5b_k - 3^k) \end{aligned}$$

とできる。

$3b_{k+1} - 5b_k - 3^k$ は整数なので、 a_{k+2} は5の整数倍である。

(II) $a_1 = 0, a_2 = -10$ なので、 a_1 と a_2 はともに5の整数倍である。

(I) (II) より、すべての正の整数 n に対して、 a_n は5の整数倍である。 ■

(補足) 強引にツジツマをあわせて

$$\begin{aligned} \alpha^{n+2} + \beta^{n+2} &= (\alpha + \beta)(\alpha^{n+1} + \beta^{n+1}) - \alpha\beta(\alpha^n + \beta^n) \\ &= (\alpha + \beta)(\alpha^{n+1} + \beta^{n+1}) - \alpha\beta(3a_{n+1} - 5a_n - 5 \cdot 3^n) \end{aligned}$$

から、(*) を導いてもいいでしょう。